

## ◆団体基本情報

No.	6	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市健康福祉事業団		
所在地	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1丁目3-2						
電話番号	022-215-3192	FAX番号	022-215-4140		所管 部局	健康福祉局 高齢企画課	
団体ホームページ	https://www.senkenhuku.com/						
代表者職氏名	理事長 西城 正美			設立年月日	平成3年3月28日		
資本金・基本財産	200,000 千円	市の出捐額(割合)	200,000 千円 (100.0%)				
設立目的	仙台市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会(豊齢化社会)の実現に向けた生きがい・健康づくりの支援, 介護知識の普及等を行い, もって市民福祉の向上を図ること。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康福祉意識の醸成及び啓発</li> <li>市民の生きがい及び健康づくりの支援</li> <li>高齢者等の介護に関する研修</li> <li>仙台市等から委託を受けて行う要介護認定等に係る認定調査</li> <li>仙台市からの指定を受けて行う「仙台市シルバーセンター」及び「仙台市健康増進センター」の管理運営</li> </ul>						
評価対象決算期	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日						

## ◆人員等の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	62.5 歳	61.5 歳	62.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,509 千円	5,329 千円	5,174 千円
④職員数	134 人	137 人	139 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	2 人	2 人
⑤職員平均年齢	48.5 歳	48.7 歳	49.2 歳
⑥職員平均年間給与	3,964 千円	3,935 千円	3,966 千円

## ◆主要財務データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①当期経常増減額	2,482 千円	△ 12,031 千円	△ 1,491 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	2,261 千円	△ 12,155 千円	△ 1,823 千円
④一般正味財産期末残高	19,098 千円	6,944 千円	5,121 千円
⑤指定正味財産期末残高	200,000 千円	200,000 千円	200,000 千円
⑥正味財産期末残高	219,098 千円	206,944 千円	205,121 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

## ◆市の財政的関与

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市からの補助金	184,121 千円	187,406 千円	177,094 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	795,774 千円	821,205 千円	856,279 千円
③市に対する収入依存度	97.86 %	98.21 %	99.43 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和2年度事業費
訪問調査受託事業	仙台市及び他市町村から委託を受けて行う要介護認定及び障害支援区分認定のための訪問調査	387,058 千円
健康増進センター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、生活習慣病予防・障害者の健康づくり・介護予防等の事業	206,368 千円
シルバーセンター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、総合相談等	201,606 千円
いきがい健康づくり事業	豊齢化社会づくりの柱である、市民の生きがいづくり、健康づくりを支援するための各種事業	127,348 千円
介護研修管理運営事業	市民及び介護職を対象とした介護研修、福祉用具の展示、介護・福祉用具等に関する相談及び情報提供	43,684 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	<p>変化する社会情勢に対応すべく事業内容や実施方法の見直しを随時行い、インターネットを導入したサービスの提供を活用しながら、地域社会の担い手として期待される高齢者の育成や健康づくりの活動支援を行った。また、家庭や地域での介護力の強化を図るため各種介護講座の充実、介護予防・認知機能低下予防のための高齢者運動教室の開催、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康づくり、要介護認定等訪問調査等、感染対策を十分に行い、安全の確保に努めながら従来の取り組みを推進した。</p>	<p>インターネットを活用しながら、地域社会貢献活動の担い手となる高齢者の人材育成や、介護予防・認知症機能低下予防のための事業等に取り組むなど、仙台市の施策や市民ニーズを意識した事業展開を行っている。引き続き、実施体制の整備を図りながら、その公益的使命を果たしていただきたい。</p>
2. 業務・組織管理	<p>事業団独自のコンプライアンス行動規範集の活用、チェックシートによる自己点検、ハラスメント防止研修を通じて職員の倫理及び服務規律の確保を行った。また、中期計画重点項目である認知症対策関連事業に対する知識を涵養する研修の実施や、期央における事業・予算の進捗・執行状況の確認を通じて事業計画の確実な履行を図った。その他、人事評価制度の導入による適正な人事管理と効果的な人材育成を進め、組織の活性化と能率の向上に努めている。</p>	<p>コンプライアンスの推進については、行動規範集の活用、チェックシートによる自己点検、職場研修を実施する等の取り組みが図られている。また、認知症対策関連事業の推進等、中期計画の達成に向け、引き続き、団体を取り巻く環境の変化を踏まえ、適切な業務運営に取り組まれない。</p>
3. 財務状況	<p>自主事業での適正な受益者負担を図るため、シルバーセンターにて実施する一部の講座について、所要経費に応じ受講料を設定するなどの取り組みを引き続き行った。仙台市からの補助金、委託料が収入の大部分を占める状況に変わりはないが、今後とも計画的・効率的な予算の執行に努めて参りたい。</p>	<p>本市からの委託料及び補助金が収入の大部分を占めている。経営安定化に向けた自主財源の確保や効率的な事業実施に取り組み、財政基盤の強化を図っていただきたい。</p>
4. 今後の方向性及び課題	<p>地域社会の高齢化の進展に伴う課題に加え、感染症予防に配慮した高齢者の社会参加のあり方が問われている。これらの課題への対応をはじめ、介護予防や健康づくりへの取り組み、ならびに認知症対策の推進等、従来取り組んできた中期事業計画の着実な実施のため、ICTの活用による新たな社会参加方法を併用した事業の開発など安全性及び継続性を確保した事業運営に努めていく。</p>	<p>感染症が発生している状況下においても、介護予防や健康づくりを推進するため、ICT等の技術を積極的に活用した事業を検討・実施いただきたい。本市の高齢者保健福祉計画等の施策や、新しい生活様式を踏まえた事業の効果的な推進に、より一層取り組まれない。</p>